



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda221号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と
協同で会報を発行します。 作成:高橋絹世 連絡先 048—462—9912

身近な自然を知り守り伝えよう **会 員 募 集 中**

ホームページ

<http://wako-wakimizu.org/>



2022年11月～2023年2月の主な予定表 (2022年10月発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森
2022 11月	バス研修会（尚仁沢湧水） 11月23日	19日（土）定期保全	12日（土）富澤湧水フィールドワーク 16日（水）大坂ふれあいの森保全
12月	12月3日 和光樹林公園 きずなプロジェクト	17日（土）定期保全	10日（土）富澤湧水・観察・保全会 21日（水）大坂ふれあいの森保全
2023 1月		21日（土）定期保全	14日（土）富澤湧水フィールドワーク 18日（水）大坂ふれあいの森保全
2023 2月		18日（土）定期保全	4日（土）富澤湧水フィールドワーク 15日（水）大坂ふれあいの森保全

1. 2022年度 お茶の水女子大学地理学巡検 9月13日（火曜日）

今年はコロナが収束し3年ぶりの実施でした。コースは、和光市駅を起点にニホニウム通りを通り、大坂ふれあいの森、富澤湧水の順にめぐり、白子コミセンで講義、成増駅で解散というコースにしました。参加者は長谷川先生と学生10名、会から勝緒さん他3名というメンバー、さらに坂井和子さんも駅に集合しました。坂井さんは、この巡検の発案者で、和光の湧き水のある特徴的な地理環境を、巡検として長谷川先生に勧め、お茶大の授業となり学生に紹介されました。当会の湧水調査活動、身近な自然保全活動がこのような形で生かされ、学びの場となるきっかけとなりました。巡検では、学生さんたちからレポートが提出され、会にも情報が共有され、とても良い提案が提出されています。私たちにとっては、小さな湧き水環境ですが、東京都からわざわざ離れていないところで、清らかな湧き水、サワガニの生育、地形地質の特徴がみられる自然環境は、役に立たないもの（useless）ではなく、invaluable(かけがえのないもの)と評価されました。また、この地域を紹介する看板のようなものを所々に設置するという提案などもありました。会にとっても大変貴重な巡検となっています。



坂井和子さん
お茶大地理学課2期生として
大先輩（右から2人目）



2. 公益社団法人日本地下水学会 市民コミュニケーション委員会主催

「湧水めぐり in 和光」

この企画は上記の委員会が「湧水めぐり in 和光」を主催、地元で湧水を保全している当会が後援し実現したものです。2022年10月15日、多くの参加者があり、好天にも恵まれて、50人あまりの湧水見学者が白子コミセンに集合しました。開催に際し柴崎市長がお出で下さり、市長のふるさと和光についてご挨拶をいただきました。その後高橋勝緒氏が自然環境マップを使いながら和光の特徴的な自然と湧き水を紹介、次に地下水学会の島野先生の「湧水の世界」について講義がありました。湧水めぐりへの出発前には熊野神社で集合写真を撮り、その後4班に分かれて出発。熊野神社の池、富澤湧水、大坂ふれあいの森、白子の滝、擁壁のわき水、小島家湧水といったコースを2時間かけて巡り、熊野神社境内で解散というコースでした。当会の会員も説明に加わったり、新たな発見があったり、各班のメンバーが湧水巡りを楽しんだことと思います。参加者の皆様から感想をお聞きしたかった湧水巡りでした。和光市外、県外からも参加者があり和光の湧水への認識が広がった一日となりました。



柴崎市長ご挨拶



マップで和光の自然を説明



島野教授の湧水の話

湧水めぐり in 和光市～白子川下流域～



熊野神社の池



富澤湧水の水路



大坂ふれあいの森の中



確かに擁壁で囲まれた湧水



米安商店の湧水

熊野神社境内で全員集合 →



3. 10月23日 中央公民館フェスタに湧き水の会が参加しました

会では公民館フェスタの最終日 23日 11時～14時迄公民館ロビーで、活動紹介パネル、湧



き水テレポートカード紹介、ムクロジ細工、折り紙で昆虫づくりなど、様々なコーナーを設けました。このフェスタでは、会にゆかりのある方々にお目にかかったり、多くの親子ずれがそれぞれのコーナーで作成を楽しんで和やかな一時を過ごしました。



4. 9月、10月の保全活動、ナラ枯れの木の対策

○ 湧水地の観察などの行事が続く時期になり、事前の保全・清掃活動を行いました。

10月8日は富澤湧水の水路幅を広げる草刈り、斜面の樹木枝刈り、枯れたアジサイの処理など広い範囲の整備を手分けして行い、観察会に備えました。

○ 富澤湧水の斜面上部にナラ枯れの発生した大木があるとの連絡を受けて、八廣園の近藤さんと見回り、枯れた大木を見つけました。富澤にも一本発生し、後日伐採する予定です。

○ 12日には、新倉ふれあいの森のナラ枯れの木の伐採処理した根元に、薬剤を撒き、流されないような処置を行い作業に協力しました。



伐採木根本の覆いと土留め設置

富澤斜面上部のクヌギ大木枯れ 新倉の森コナラ伐採後の薬剤処理

これ以上のナラ枯れ被害が出ないことを願っています。また、かしながホイホイシートを撒いた樹木の様子は、樹木の状態が良くならないためにシートを取り外すこととしました。

緑と湧き水の保全を継続して進めてきて、その大切さが認識されてきたことは事実で有難いことと思います。環境保全にかなりの努力をしていますが、今回のような害虫の発生に関しては、防ぐ方法は確立されていないようです。コナラやクヌギといったドングリのなる木と共にエノキやムクノキといった樹種も雑木林に適しているため、育てることも大事だと思います。生物多様性の森が自然を救うことでしょう。

5. 2022 年度バス研修会（栃木県の尚仁沢湧水）11 月 23 日（祝）

◎ 湧き水の会と白子大坂ふれあいの森の会合同のバス研修会の目的地として、栃木県塩谷町の尚仁沢湧水を選びました。尚仁沢湧水は、名水百選に選ばれている塩原山地の南麓、鬼怒川の支流の荒川の水源地にある、素晴らしい湧水群です。

和光市出発、東北道矢板北 IC 経由、12 時前に東荒川ダム付近の尚仁沢湧水パーク着、広々とした公園（ほとんど何もない、小ラーメン店あり）でお弁当の昼食予定。ここには尚仁沢湧水から水を引き、湧き水がくめる施設があるので、空のペットボトル持参が良いです。ここよりバスで数分の駐車場へ移動。そこから、尚仁沢湧水まで、約 40 分のハイキング。

ハイキングは、登り 8 分、下り 6 分（階段）の急坂あり（新倉ふれあいの森の坂道の 3 倍程度、富澤湧水斜面の 2 倍程度の登りと下り）。それ以後はほぼなだらかな、美しい沢沿いのハイキングコース、約 30 分。お目当ての尚仁沢湧水は見てのお楽しみ。水もくめます。往路を戻り駐車場へ、見学も含め 2 時間程度。バスで帰路。和光市 18 時頃帰着予定。

◎ 雨天の場合「雨天コース」を用意。矢板北 IC から東へなかがわ遊水園、益子焼センター

● **富澤湧水 7 時 30 分の出発（7 時 15 分乗車可）上谷津外環下の駐輪場前 7 時 50 分出発**

● 日程 2022 年 11 月 23 日（祝日）

● 参加費 1,500 円（昼食、入館代金として）参加人数 23 名ぐらい

● 服装 歩きやすい靴、飲み物、雨具、ウィンドブレーカー、ペットボトル（湧水パーク）

● コロナの状況により実施できるかどうか 11 月にご相談します。 高橋 048-462-9912

6. 和光樹林公園「きずなプロジェクト」 12 月 3 日（土） 10 時～14 時

南駐車場近くの芝生エリアにて、地域活動をしている 6 団体が出店。

湧き水の会は、樹林公園パートナーズと協働で「どんぐりの森をつくろう」：植樹をします。植樹後には「和光の自然を作ろう」という企画をする予定です。パネルに和光市の特徴的な写真を大きくして張り、参加者にはその周りや写真に、生き物の写真や折り紙で作った昆虫などを作成し、草や花、生き物のいる自然をパネルに作ってもらおうという企画です。皆さん協力して出店し、どんぐりの森づくりをご一緒にしましょう。

7. 富澤湧水の定期フィールドワークの日に参加者を募集して保全体験を実施

富澤湧水で湧き水観察と保全体験

日時 **2022 年 12 月 10 日(土)10 時～11 時 30 分(雨天 11 日)**

集合 白子コミセン前 10 時

内容 湧水の里と言われる白子の富澤湧水を観察し、
落ち葉掃きなど保全体験をします。

モミジの葉っぱで押し葉づくりもしてみましよう。

参加 20 名（小 3 以上どなたでも）動きやすい服装で

申込み NPO 法人和光・緑と湧き水の会 462-9912（高橋）

